

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公表番号】特表2002-524393(P2002-524393A)

【公表日】平成14年8月6日(2002.8.6)

【出願番号】特願2000-563294(P2000-563294)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】配列番号1、配列番号2、配列番号3、配列番号4、配列番号5、配列番号7、配列番号8、配列番号9、配列番号10、配列番号12、配列番号13、配列番号14、配列番号16、配列番号17、配列番号18、配列番号19、配列番号20、配列番号21、配列番号22、配列番号24および配列番号35からなる群から選ばれるアミノ酸配列を含んでなるか、または配列番号6、配列番号11、配列番号15および配列番号23からなる群より選ばれたアミノ酸配列からなるゾヌリンのペプチドアンタゴニストであって、閉鎖毒素受容体に結合するが、しかし哺乳類の密着結合の開放を生理学的に調整はしない上記のペプチドアンタゴニスト。

【請求項2】ゾヌリンのペプチドアンタゴニストの薬剤的有効量を含んでなる胃腸炎症の処置用製薬学的組成物であって、該ペプチドアンタゴニストが、配列番号1、配列番号2、配列番号3、配列番号4、配列番号5、配列番号6、配列番号7、配列番号8、

配列番号 9、配列番号 10、配列番号 11、配列番号 12、配列番号 13、配列番号 14、配列番号 15、配列番号 16、配列番号 17、配列番号 18、配列番号 19、配列番号 20、配列番号 21、配列番号 22、配列番号 23、配列番号 24 および配列番号 35 からなる群より選ばれるアミノ酸配列を含んでなり、該ペプチドアンタゴニストが、腸内の閉鎖毒素受容体に結合するが、しかし該腸内の密着結合の開放を生理学的に調整はしないものである、上記の組成物。

【請求項 3】 ゾヌリンのペプチドアンタゴニストの薬剂的有効量を含んでなる胃腸炎症の処置用製薬学的組成物であって、該ペプチドアンタゴニストが、配列番号 1、配列番号 2、配列番号 3、配列番号 4、配列番号 5、配列番号 6、配列番号 7、配列番号 8、配列番号 9、配列番号 10、配列番号 11、配列番号 12、配列番号 13、配列番号 14、配列番号 15、配列番号 16、配列番号 17、配列番号 18、配列番号 19、配列番号 20、配列番号 21、配列番号 22、配列番号 23、配列番号 24 および配列番号 35 からなる群より選ばれるアミノ酸配列からなり、該ペプチドアンタゴニストが、腸内の閉鎖毒素受容体に結合するが、しかし該腸内の密着結合の開放を生理学的に調整はしないものである、上記の組成物。

【請求項 4】 ゾヌリンのペプチドアンタゴニストの薬剂的有効量を含んでなる血液脳関門の損傷に関連する症状の処置用製薬学的組成物であって、該ペプチドアンタゴニストが、配列番号 1、配列番号 2、配列番号 3、配列番号 4、配列番号 5、配列番号 6、配列番号 7、配列番号 8、配列番号 9、配列番号 10、配列番号 11、配列番号 12、配列番号 13、配列番号 14、配列番号 15、配列番号 16、配列番号 17、配列番号 18、配列番号 19、配列番号 20、配列番号 21、配列番号 22、配列番号 23、配列番号 24 および配列番号 35 からなる群より選ばれるアミノ酸配列を含んでなり、該ペプチドアンタゴニストが、脳内の閉鎖毒素受容体に結合するが、しかし該脳内の密着結合の開放を生理学的に調整はしないものである、上記の組成物。

【請求項 5】 症状が脳虚血である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 6】 症状が卒中または脳水腫である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 7】 症状が高血圧である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 8】 症状がけいれん性発作である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 9】 症状が尿毒症である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 10】 症状が髄膜炎である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 11】 症状が脳炎である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 12】 症状が脳脊髄炎である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 13】 症状が外傷性脳損傷である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 14】 症状が放射線脳損傷である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 15】 症状が多発性硬化症である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 16】 症状がギラン・バレー症候群である、請求項 4 記載の組成物。